

V 自由意見

最後に、愛知県の男女共同参画の推進に関する施策や男女共同参画社会について、ご意見がございましたら、ご自由にご記入ください。

県の男女共同参画の推進に関する施策や男女共同参画社会について、意見等を聞いたところ、359件の記述が寄せられた。これらが大別すると次表のとおりであり、以下その意見の要旨をいくつか例示した。

なお、分類の都合上、文中から一部抜粋したり、複数に分けたりしている場合があるが、原文の内容の趣旨が損なわれないよう留意している。

項目	件数 (件)
男女の平等について	101
女性の社会進出について	52
男女の役割分担について	22
子育て、介護について	40
雇用環境について	23
DVなどについて	4
行政、施策について	34
広報、啓発について	26
その他	57
合計	359

【男女の平等について】

- ・ 数十年前と比べると、女性の社会における地位は上がっているとは思いますが、まだまだ偏見は多いように思う。
- ・ 男性の意識を変えることも大切だが、女性の意識も変えなければ、本当に平等にはならないと思う。
- ・ 本当の意味での平等というのは、男女を全く同等な立場にする事ではないと思う。体力や得意分野は男女によって異なるので、それを考えた上での男女共同参画が推進されるとよいと思う。
- ・ 男女平等に関しては素晴らしいことだと思うが、昔からの習慣やしきたりを無視するのは間違っていると思う。

- ・ 性だけでなく、能力、環境、何もかもが個々で違う。しかし、個々が違うという事を認めた上で、全ての人々に平等に生きる価値がある。
- ・ 男性の意識を変えていくのは言うまでもないが、女性も男性に甘えることなく社会に関心を持ち、自分の意見、意志をしっかりと表すことのできる社会、家庭にしたいと願う。
- ・ 女性優先、女性専用、女性だけが得をするというのは間違った平等だと思う。そういう矛盾をなくして男女共同参画の推進をしてほしいと思う。
- ・ 自らが体験しない限り、私くらいの世代（20代）は男女共同参画ということ意識することはないように思われる。
- ・ 女性であるという理由だけで、女性が優遇されるのではなく、能力のある人が男女問わずに力を発揮できるとよいと思う。
- ・ 性差を尊重しつつ、お互いの理解を深めて行くことだと思う。人間としてのバランスを大切に、その中にある性差を思いやることだと思う。
- ・ 「女性を優遇すること」ではなく、「女性だからという理由で不当な扱いをしないこと」が男女平等の実現である。
- ・ 「平等」を当たり前にするには、小さな頃からの教え（家庭も含め）が必要だと思う。
- ・ 典型的な農村部に居住していると、男女平等とはかけ離れた生活。年長者の意識改革が必要と思う。

【女性の社会進出について】

- ・ 女性でも能力のある方は、社会的地位で活躍できる社会になるべきだと思う。結婚するだけが人生ではないと思う。
- ・ 今の社会において、女性が仕事を続けられる環境を整備することが最も重要だと思う。
- ・ 女性が色々な職業に参加できるといいと思うが、その反面奥さんには家庭にいてほしいというのもあり、矛盾してしまう。
- ・ 女性の中には、男性と同じようにバリバリ働きたい人と、定時で終わり、趣味や教養を高めたり、育児などに時間を費やしたい人もいるのではないかな。何を望むかで働き方も選択できた方が、女性には都合が良いのではと思う。
- ・ 男性優位の場に女性が参入できるようにすることは、男女共同参画の手段として有効だとは思う。しかし、女性が多い職種や、男性が受け入れられにくい場があることも事実で、そういった場への男性進出は女性ほどは進んでいないと思う。
- ・ 女性の就労者の多くが非正規雇用で、女性の賃金が低い原因の一つになっており、女性の自立を妨げている。
- ・ 北欧の国のように、女性が働くことで、結果的に国全体の経済が上向きになるということが可能になればよいと思う。
- ・ すべての職業に男女共同参画を求めるよりも、それぞれの特性を生かした職業があったり、1つの職業の中にも、男性が担うべき部分、女性が担うべき部分というように細分化して考えても、男女共同参画の精神に沿うと思う。

- ・ 少子化、高齢化が進む中で、女性の社会進出は好ましいことだと思うので、行政が取り組むのは大変結構だと思う。
- ・ 女性が自立するには経済的な裏づけが大切。経済的に自立する事で、そこから見えてくる世界は明るく、選択肢も広がるのでは。
- ・ 女性社員を積極的に採用したいと考えているが、なかなか良い人材が定着しない。やはり、能力差を男性、女性という目で見ってしまうからか。
- ・ 女性が企業で働いたり、管理職につくことで、男性とは違った戦力になりうることを、企業側にアピールするべきだ。
- ・ 次代を担う子を育てることも、立派な社会参加だと思う。一生仕事するのもよし、女性の選択の幅が広がるのが一番で、多様な生き方が出来るといいと思う。
- ・ 数値にこだわるのではなく、働きたいという女性を支援するような自然な形のものであってほしいと思う。
- ・ もっと女性が仕事に対して責任感を持ったほうがよい。周りもそのように接したほうがよいと思う。
- ・ 女性が社会に参加していくのは本人次第だが、参加しようかなと思う機会を提供していくことは大切だと思う。
- ・ あらゆる分野で、女性に限らず、男性も自分の希望する職業やボランティア等で活躍できることが重要だと思う。

【男女の役割分担について】

- ・ 「男は仕事、女は家庭」という概念は年配の方が多く持っていると思う。今の若い人たちは、年配の方に比べるとそういう意識は少なくなっていると思う。焦らず少しずつ変わっていったらよいと思う。
- ・ それぞれ夫、妻が納得していれば、どのような分担でも良いと思う。男女の差は感じない。
- ・ 共働きだが、なかなか夫が手伝いをしてくれず、家庭のことは女がやるものだという考えはなかなかなくなる。社会全体が色々な面で変わってくれることを望む。
- ・ 自分はまだ学生であるが、将来結婚したり子どもができた際には、育児や家事、行事など、パートナーとともに積極的に参加していきたいと考えている。
- ・ 私は、専業主婦も悪くないと思う。
- ・ 専業主婦の社会的役割（地域ボランティア、子育て等）を評価してほしい。
- ・ 家庭での役割分担の中で、夫もできることから協力すべきだと思う。
- ・ 「女性を管理職に」とか「男性にも育児休暇を」など、あまりこだわらなくても、夫婦であればそれぞれが得意分野を受け持つぐらいのやわらかい考え方でよいと思う。最近では「仕事の方が家のことよりもおもしろい女性」や「家事が好きな男性」が増えていると思う。

【子育て、介護について】

- ・ 仕事と子育ての両立をするために、保育園及び学童保育等の制度の充実を図ってほしい。
- ・ 会社も積極的に子育てができる環境（勤務時間の短縮や残業制度の見直し）を作ってほしい。
- ・ 男性の残業や休日出勤等ができるだけ減るように、そして、家のことや子どもと関わる時間をたくさんとれるようになれば嬉しい。
- ・ 子育ての大変さを男性ももっと知り、子どもの教育も家庭だけにまかせるべきではないと思う。一日中子どもと離れられず、ストレスを強く感じても、それを打ち明ける場や子どもを受け入れる場がなければどうにもならず、抱え込んでいる人はたくさんいると思う。
- ・ 女性が産休・育休を経て、元の職に戻れるような仕組みづくりができればいいと思う。
- ・ 女性の社会進出の前に、子どものケアが大切だと思う。育休が2～3年では少ないと思う。その子その子で違いがあるわけだから、好きなだけ育休が取れて、いつでも復帰できる社会になればと思う。
- ・ 男女が社会的、経済的に平等な事は良いとは思いますが、そのために女性の性を生かしきれずに人生を送るのは残念な気がしてならない。結婚、出産、子育ては、長い人生において素晴らしい経験であり、男性においてもそうであると思う。
- ・ 介護は女性の仕事ではなく、今後は男性にも加わってほしい。それぞれが発揮できることを分担していけたら良いと思う。
- ・ 子育てについて、男女がしっかりと話し合う家庭をつくれる社会が必要。
- ・ やはり子育ては女性の方が向いていると思わざるを得ない。産んだらどこかに預けて働けばいいと言うが、それで子どもの成長に支障はないのか。
- ・ 男性も子育てにもっと参加できるように、企業は育児休暇（男）の日を決めるなど、休みがとりやすくなることを願う。
- ・ 主婦でも外に出たい人はたくさんいると思う。これから子どもが少なくなっていく中、女性のパワーをもっと活用するために、介護や子育てを分担し、社会全体で担っていきける世の中になったらいいと思う。
- ・ 不妊治療を希望する家族への対処（配慮）を充実させてほしい。

【雇用環境について】

- ・ 残業⇔効率化に挟まれている男性が沢山いる。その人たちが定時で帰ることができる社会をつくらない限り、仕事と家庭の両立はありえない。また、在宅勤務でカバーできるという考えも無くしてほしい。在宅で仕事ができる人は少数だし、本人の精神衛生上も良くない考える。
- ・ 男女差別は、特に、社会に出て会社勤めをしているときに感じるのだと思う。

- ・ 経済的に男女が同じように安定していることが大切。ワーキングプアの解消が大切。非正規雇用が若者の結婚も阻んでいる。
- ・ 夫自身、「男性も家事を」と思っているものの、現実では困難だ。職場や労働環境の見直しをぜひお願いしたい。
- ・ 男性の就業時間を見直すことが、男女ともに働き続けることのできる社会につながると思うが、男性の収入に頼って生活している以上、男性の就業時間が減り、収入が減ると、今度は生活が成り立たなくなってしまう。
- ・ 大企業は女性の働きやすい環境があり、子供をもっても復帰しやすい。しかし、中小企業はどんなに優秀でも使い捨てである。中小企業にもっと推進してほしい。

【DVなどについて】

- ・ 若い女性の服装が気になる。男性のセクハラばかりが言われるが、女性にも責任があると思う。
- ・ DVの相談窓口のPRをもっとしてほしい。事件が起こる前に予防処置をしてほしい。

【行政、施策について】

- ・ 愛知県はまだ遅れていると思う。保守的な空気が根強く、意識を変えていくには困難を伴うだろう。県が思い切った強い意志を示していくことが重要だと思う。
- ・ 男性の方が優遇されていることを改善するための取組は間違いなく必要だと思う。ただ、あまりに過剰な取組や数字だけを求めた取組には反対だ。こうした取組は数年間で結果が出るわけではないし、長い年月をかけて少しずつ変えていく必要があると思う。
- ・ 雇用の充実と併せて、民間企業、団体等の管理職に女性の登用が進むよう支援をしていく必要があると思う。
- ・ 能力の点でも公平に評価され、どんどん社会に女性が増えていくことを目指してほしい。そのために、社会の仕組み、法律や制度の見直し、特に平等な教育機会の設置や評価制度などの見直しを望む。
- ・ 無理に女性登用を進める必要はない。男女ともにやりたいこと、好きなことができるよう、バックアップすることにお金を使ってほしい。弱者のサポート、頑張っている人が報われる行政を。
- ・ パンフレットなどの広報に予算を割くより、女性の管理職10%以上とか収入格差の少ない企業に税を優遇するなどした方がよい。
- ・ まずは役所から女性を登用すべきだと思う。
- ・ 学校での推進活動は効果的に思う。

【広報、啓発について】

- ・ 単にお金をかけるだけではなく、知恵を絞ったPRをしてほしい。
- ・ 自営業、農業、サービス業、専業主婦などにも啓発の機会を設け、男女平等を周知徹底してほしい。
- ・ 男女共同参画について、自由に考えを伝えられたり、意見交換できる場（ホームページやメールなど）があると良い。
- ・ 多くの人々にPRができるようなイベント、広報の充実を願う。
- ・ 行われている行事、企画を目にすることがないように思う。もっと伝わるようにPRをしてはどうか。
- ・ ウィルあいちをはじめ、活動拠点が名古屋市に集中している。他地域には少ないと思う。
- ・ 男女共同参画という言葉自体あまり理解されていない。
- ・ 市町村でもっとPRしてほしい。

【その他】

- ・ この機会がなければ「男女共同参画」について深く考えることはなかったと思う。今後とも、この調査によって県民の多くの方々が考える機会を得て、男女共同参画についての理解が深まるとよいと思う。ぜひ、継続的な調査をしてほしい。
- ・ アンケートと一緒に、男女共同参画のパンフレットなどを同封すればよかったと思う。この様なアンケートをする事はとても良い事だと思う。色々な年代の男女に意見を聞くことは必要だ。
- ・ 質問自体が女性向けになっている気がする。男性からは書きにくい間が多いと思った。